

八丈島の火山活動解説資料（平成 22 年 7 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1）

楊梅ヶ原（西山山頂の南南東約 5 km）に設置してある遠望カメラでは、山頂部等に噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 2）

八丈島付近を震源とする地震の発生は少なく、地震活動は静穏に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。



図 1 八丈島 山頂部の状況
（7 月 20 日 楊梅ヶ原カメラによる）

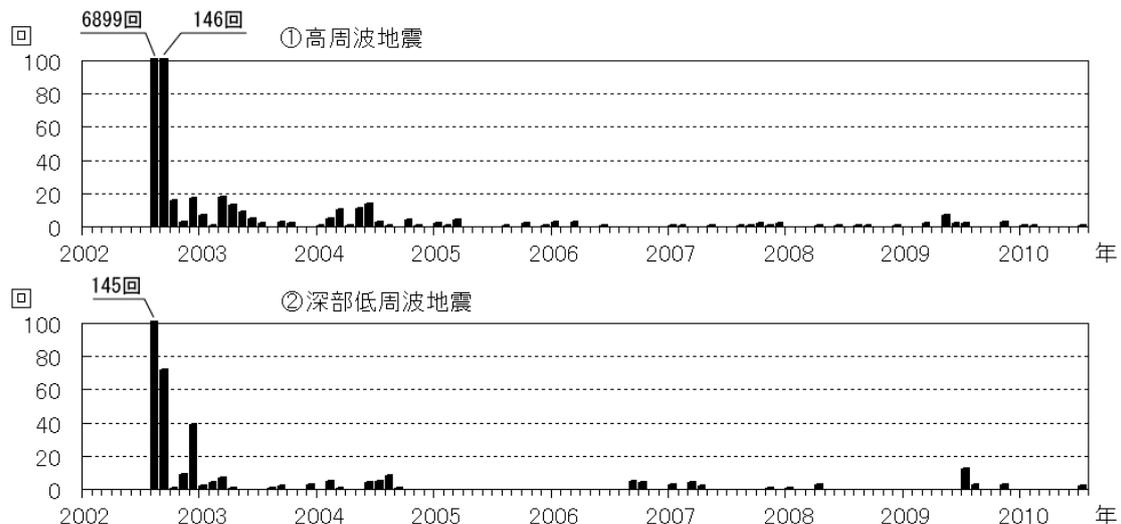


図 2 八丈島 月別地震回数（2002 年 1 月～2010 年 7 月）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 22 年 8 月分）は平成 22 年 9 月 8 日に発表する予定です。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。

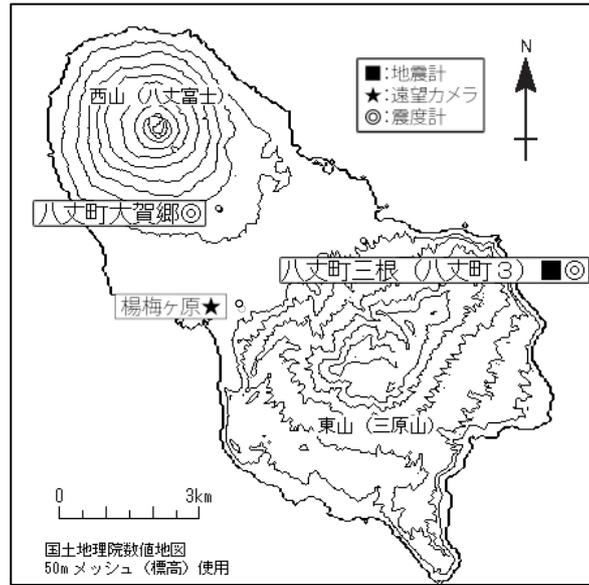


図 3 八丈島 気象庁の観測点配置図
 (小さな白丸は観測点位置を示しています)

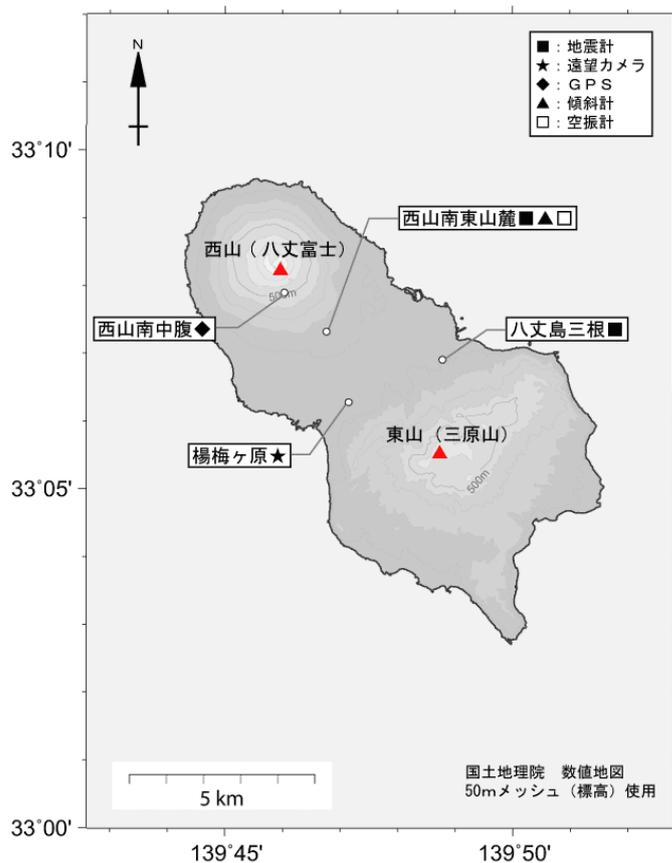


図 4 八丈島 新しい観測点名称を使用した観測点配置図
 (小さな白丸は気象庁の観測点位置を示しています)
 運用開始前の観測点も含まます

気象庁では、2010年8月2日12時より火山観測点の名称を変更しました。
 観測点配置図の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ (標高)』を使用しています (承認番号: 平 20 業使、第 385 号)。